

「誠」を基本に、常に志を高く持って 社会課題の解決に挑戦し、 さらなる成長をめざします

株式会社デンソーテン
代表取締役社長

加藤之啓

デンソーテンは、創業以来、「誠は天の道なり」を経営理念に、事業を通じてお客様・社会に貢献することを使命としています。世の中の変化の兆しをいち早く捉え、常に新技術開発の先駆者として、世界初・業界初といった製品を世に送り出すことで、新たな価値を創造し、成長してきました。

自動車業界では、100年に1度といわれる大きな転換期の中で、コネクティッド・自動運転・電動化・シェアリングサービスといった分野での技術革新の進展や、「MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)」*の関連分野などにおいての自動車業界の枠を超えた提携の動きの拡大が見込まれています。

私たちは、このような環境の変化を着実に捉え、コックピット、コネクティッド、電動化領域を核としてクルマの付加価値を高めることで、自由で快適なモビリティ社会の実現に貢献するとともに、自らの新たな発展に挑戦

してまいります。

また、私たちは環境や社会に対する影響に配慮した活動にも取り組んできました。パリ協定やSDGs(国連が掲げる持続可能な開発目標)の達成に向けて、当社の果たす役割は大きいと考えています。たとえば、エンジンのさらなる低燃費化・低排ガス化やEV(電気自動車)の低電力消費を実現する先進の制御技術開発、サプライチェーンを通じたCO₂削減、個人の事情に合わせた柔軟な勤務制度の導入をはじめとする働き方改革、健康経営の推進などに取り組むことで社会の期待に応え、国際社会・国際地域に信頼される企業をめざします。

私たちは、これからも、常に志を高く持って社会課題の解決に果敢に挑戦し、SDGs達成に貢献することで、さらなる成長をめざしてまいります。

* ICTを活用して、あらゆる交通手段をシームレスにつなぎ、目的地までの移動をワンストップで提供すること

